



南野 耀平さん, Youhei Nanno (24才)
大阪府出身。令和2年4月より南魚沼森林組合で森の仕事に従事。

志太 敬明さん, Takaaki Shida (49才)
20年以上にわたり、森の仕事に従事。現在は「緑の雇用事業」事業の指導員でもある。



継承のきっかけ

南野 耀平さん(以下敬称略) 出身は大阪府です。もともと体を動かす仕事、自然の中の仕事が好きで沖縄県でマリンスタッフ(海の家やビーチで働く人)として働いていました。ウィンタースポーツにも興味を持っていたため、昨年の冬から湯沢町のスキー場で働き始めています。

スキー場で働いていた際の先輩に夏場の仕事の相談をしたところ、南魚沼森林組合を教えてください。試験を受けて今年の4月から森林組合で森林技術員として働いています。

森林組合の仕事は間伐や除伐、植栽など多岐にわたるため、仕事をする上で様々な技術が必要となります。現在は「緑の雇用事業」の林業作業士研修を受けるとともに、現場では「緑の雇用事業」の指導資格を持っている先輩から基礎的な技術も教わっています。

大切なこと

南野 危険な作業がたくさんあるので、安全確認には最も気を使っていますし、一番大切なことだと思っています。あとは機械の整備です。機械整備を怠ると作業効率下がってしまうので、チェーンソーや下草刈りに使う刈払機など、機械の整備にも気を使っていますね。

志太 敬明さん(以下敬称略) 森の仕事は昔から事故が多い仕事と言われていて、中でも伐倒という木を倒す作業が一番危険です。木が倒れる方向を計算しながら作業しなければ木が自分と一緒に作業する人の方向に倒れてしまう危険があります。もちろん技術を磨くことも大切なことですが、周囲の様子に気を配りながら、安全に作業できるように心がけています。

今後の目標

南野 まずは「緑の雇用事業」の林業作業士の3年間の研修で伐倒技術など林業の基礎知識を身につけて、一人前の現場技術者になりたいです。

今は自分のことで精一杯ですが、いずれは志太さんのような指導員になりたいと思っています。

志太 私たちは地元の里山を守るということを大前提に仕事をしています。市内には鳥獣被害が出ている里山も多くあるので、次の世代にも守ってほしいです。

若手の技術員には事故なくこの仕事を続けてもらい、確実に技術を磨いてほしいです。杉が年輪を重ねていくように、次の世代に技術をつないで行ってもらえればと思いますね。

緑の雇用事業

未経験者でも林業に就き、必要な技術を学んでもらうため、林業経営体に採用された人に対し、講習や研修を行うことでキャリアアップを支援する制度です。研修年次に応じて研修の内容をステップアップさせ、様々な技能を身につけられるよう体系的な研修プログラムが用意されています。



#06 受け継がれる“^{わざ}技” Techniques to be inherited



南魚沼の里山を守るため『森の仕事』を受け継ぐ

古くから美しい里山が広がる南魚沼。

南魚沼森林組合では美しい里山を守るため、日々、森の仕事に取り組んでいます。

今回は南魚沼へ移住し、森の仕事に従事し始めた南野耀平さんと、20年以上にわたり里山を守り続けている志太敬明さんをご紹介します。

お問合せ先

南魚沼森林組合 / 〒949-6423 南魚沼市舞子 1819 番地
電話 : 025-783-3349 / HP : <http://park12.wakwak.com/~m-uonuma.shinrin/index.htm>